



# 学校だより

平成30年 2月28日  
練馬区立田柄第二小学校  
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-ky.ed.jp> e-mail [info@tagara2-e.nerima-ky.ed.jp](mailto:info@tagara2-e.nerima-ky.ed.jp)

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.480

## 他人のあやまちは許すがよいが 自分のあやまちは許してはいけない(菜根譚より)

校長 谷田 弘子

三学期もあと僅かとなりました。2月のピョンチャンオリンピックでは、日本選手の活躍が毎日報道されていました。小学校時代からの夢を叶えた選手も多くいました。小さい頃から目標を決めて夢中で取り組む姿は大変素晴らしいものです。

さて、児童は毎日一所懸命勉強したり運動したりして、少しでも成長しよう、立派になろうとがんばっています。また、家庭においても学校においても失敗がないように、叱られないようにと頑張っていると思います。それでも、人間ですから時々宿題を忘れたり、友達と遊ぶ約束を忘れたり、給食の時に牛乳をこぼしたりするなど失敗があると思います。このような場面にあったときにどのように子供は考えて、どのように行動するのでしょうか。また、自分の失敗ではなく、友達の失敗にあうこともあります。友達が集合時間に遅れてみんなに迷惑をかけたとか、親しい友達が自分の嫌がることを言ったとか、掃除の時間に怠けていたとか、このような友達の失敗を見たとき、子供はどう考え、どう行動するのでしょうか。

まず、自分の失敗について考えてみます。失敗には自分の考えや行動に原因がある場合と自分ではどうしようもない原因による場合があります。宿題を忘れるのは自分に原因があって起きることが多いでしょう。後でしようとして遊んでいるうちに眠くなってしまったとか、他のことをしているうちに忘れてしまったとかなどの原因があります。宿題を忘れないために、毎日家に帰ってからすぐやってしまう、夕食後必ずするようにするという約束を決めると忘れるという失敗はなくなります。友達との約束もメモ用紙に書いて玄関においておくなどの工夫をすると、忘れるという失

敗はなくなります。自分の失敗は、しばしば繰り返してしまうものです。それは、自分の失敗は軽く考え、その原因を考えないことや、その原因を取り除いて失敗をなくす努力をしないことにあります。失敗はできるだけなくすようにがんばってほしいと思います。

次に友達の失敗について考えてみます。A君が集合時刻に一人だけ遅れて迷惑をかけた場合をどう考えるでしょう。まずはその原因を考えてみます。朝でしたら寝坊したのかもかもしれません。放課後や休日でしたら急な家の手伝いを言いつけられたとか、少し体の具合が悪かったのかもかもしれません。いずれにしても、一番恥ずかしい思いをして皆に申し訳ないと思っているのは、遅れてきたA君です。そのA君にどんな言葉をかけるのでしょうか。

「だめじゃないか遅れたら、みんなが迷惑したよ。」と言うのか、「大丈夫だよ、そんなに遅れたわけではないから。」「誰でも遅れることはあるよ。なんでもないよ。」などと言ってあげるのでしょうか。A君が立ち直って元気になるのは友達の慰めと励ましの言葉だと思います。厳しい言葉をかけられると、A君はますます元気がなくなり落ち込んでいきます。

最近、自分の失敗は簡単に片付けてしまいがちですが、他人の失敗はすぐに許せないという児童が目立つような気がします。他人の失敗はすぐに許して、自分の失敗は反省して二度としないようにできると友達と仲良くでき、多くの友達ができます。そして、自分自身は昨日の自分より立派な人柄になり成長でき、良いことが続くと思うのです。

※菜根譚(さいこんたん):洪自誠(こうじせい)が中国明代末期(16世紀)に書いた「心学」の書